

第4章 新たな盛岡市都市計画道路整備プログラムの検討

4-1 基本方針

本章では、これまで示した既定計画の課題やもりおか交通戦略施策実施方針及び将来道路網計画の検証結果に基づき、今後10年間に優先的に整備すべき路線・区間の検討を行うものである。

なお、整備優先度の検討にあたっては、第1章で示した基本方針に基づき、以下の項目により検討を行い、今後の交通施策を支える実現性を踏まえた幹線道路網の形成を目指すものである。

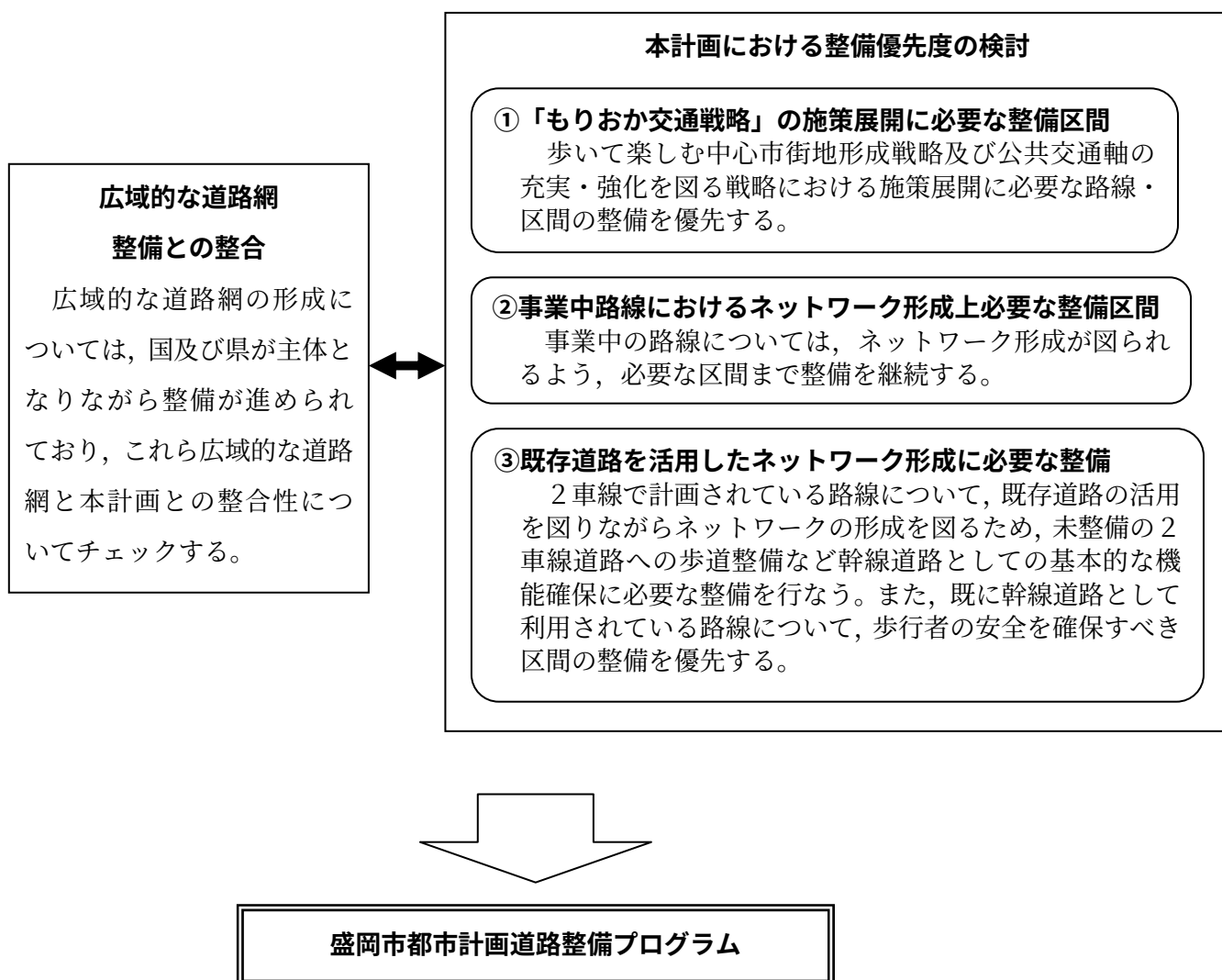


図19 整備優先度検討の基本方針

4-2 広域的な道路網整備との整合について

1. 広域的な道路網計画

他市町村や郊外部と連絡する広域的な道路網については、国道・県道を中心とする放射道路により各方面とのネットワークを形成し、市街地へのアクセスは環状道路で分散を図りながら誘導する計画とされており、盛岡広域都市計画区域マスタープランの将来像として位置付けられている。

「もりおか交通戦略」における将来道路網計画の検証では、これら広域的な道路網計画との整合を図られるよう、計画を策定している。

2. 広域的な道路網の整備状況

広域的な道路網の整備状況は以下に示すとおりであり、現在、国の直轄事業により、国道4号盛岡北道路、国道4号渋民バイパス、国道46号盛岡西バイパス、国道106号都南川目道路の整備が進められているほか、県事業により主要地方道盛岡環状線や県道本宮長田町線、主要地方道盛岡和賀線などの整備が進められており、いずれも広域的な道路網計画に沿ったもので「もりおか交通戦略」との整合が図られている。

<県北・青森方面>

主要路線である国道4号は市街地部では4車線ネットワークが形成されており、現在渋民バイパス及び盛岡北道路の整備が進められている。市街地へのアクセスは同路線と一般県道氏子橋夕顔瀬線により分散を図る計画であり、一般県道氏子橋夕顔瀬線は4車線道路として都市計画決定されている。また、国道46号前潟地区から北へ向かうバイパス構想があるが、現時点で具体ルートは未決定である。

<県南・仙台方面>

主要路線である国道4号は4車線化されている。将来的には現在整備中の国道46号盛岡西バイパスの南進を図る構想がある。また、国道4号から仙北地区を経て市街地にアクセスする主要地方道盛岡環状線は、もりおか交通戦略の公共交通軸にも位置づけており、4車線化が進められている。

<雫石・秋田方面>

主要路線である国道46号は稲荷町以西で4車線化を完了している。現在、盛岡南地区から主要地方道上米内湯沢線に至る国道46号盛岡西バイパスの整備が進められている。

<沿岸方面>

宮古方面へアクセスする国道106号では、現在、都南川目道路の整備が進められている。また、釜石方面への国道396号は市街地での4車線化を完了しているほか、岩泉方面への国道455号においては、平成21年10月に北山バイパスが開通したところである。

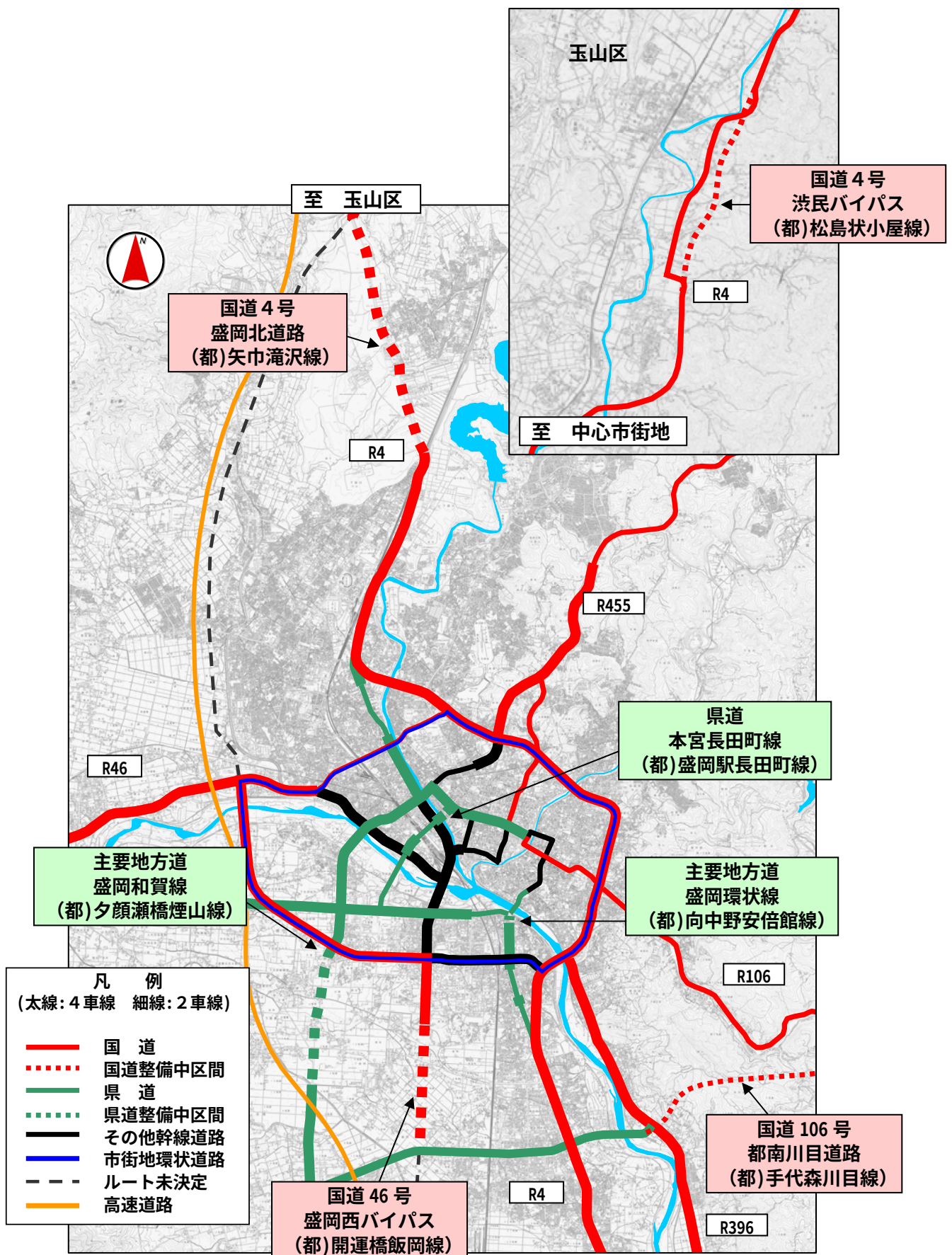


図 20 広域的な道路網の形成状況